

# 津麦ニュース 平成28年産 第1報

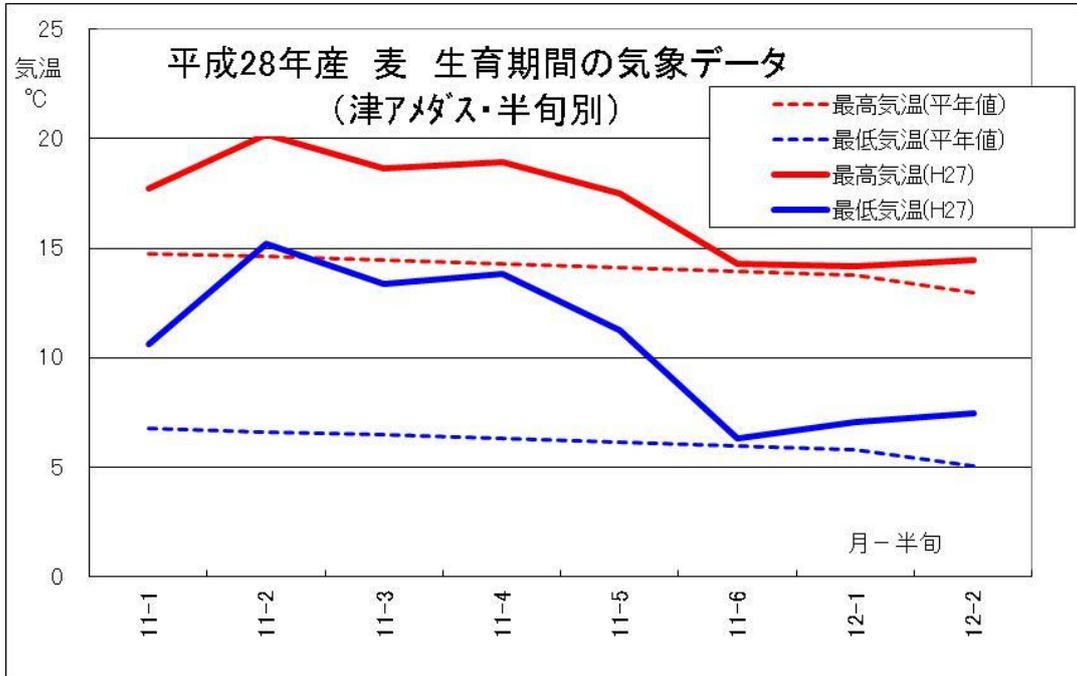
平成27年12月8日発行  
津地域農業改良普及センター  
電話:059-223-5121

**麦の生育は順調に進んでいます  
今後、積極的な追肥を行い、生育量を確保しましょう。**

## <気象経過>

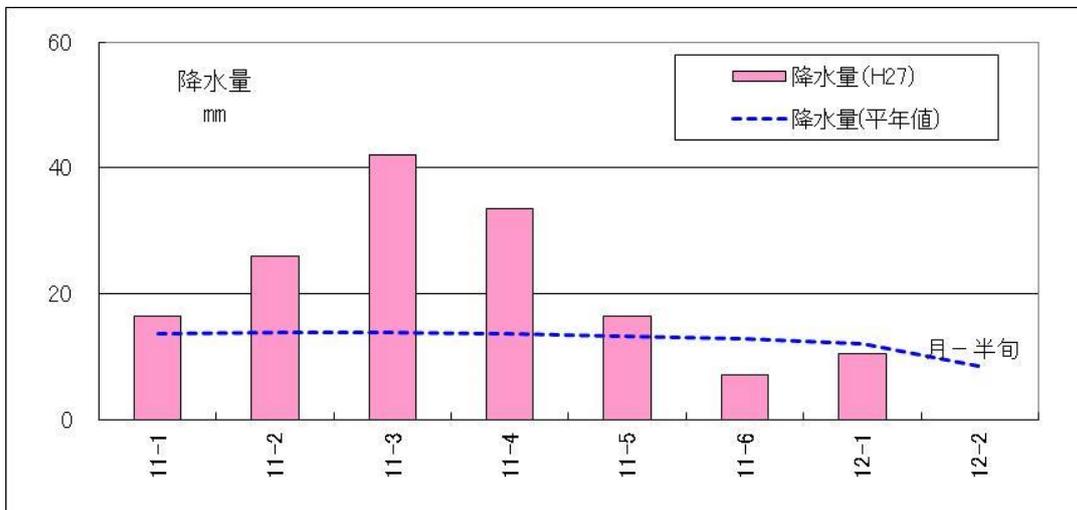
### ○気温

11月以降高温傾向が続いています。(11月の平年比+1.9℃)



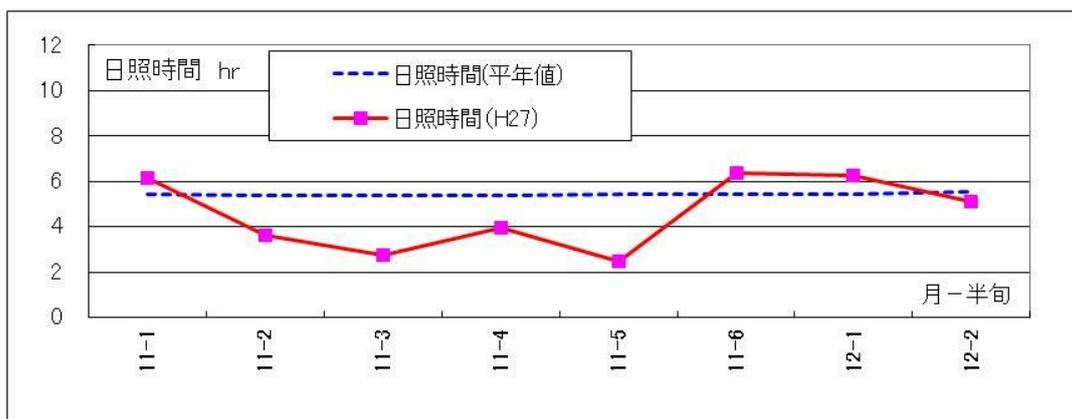
### ○降水量

11月は一度の降水量が多い傾向がありました。特に、11/14の雨では津で33mm、白山町で58mmの大雨となりました。12月に入ってから雨の日は少なくなっています。



## ○日照時間

日照時間は、11月上旬～中旬までは平年より少なくなりましたが、11月下旬以降は、ほぼ平年並みとなっています。



## <麦の状況>

### ○ 播種作業

11月上旬～中旬に晴天が続いたため、播種作業は順調に進みました。しかし、11月中旬以降、雨が続いた影響で、播種作業終了にまでは至っていません。

### ○ 生育状況

播種時期の11月の気温が高かったことから、出芽は平年より早く、生育も平年より進んでいます。しかし、11/13前後に播種されたほ場では、湿害による出芽不良が目立っています。

### ○ 病虫害発生状況

現在のところ、コムギ縮萎病等の病害や、虫害は観察されていません。

## <今後の対策>

### ○ 追肥

11月上中旬播種のはものは、生育がかなり進んでいる状況で、3～5葉期となっているのが大半です。この時期は穂数の確保に重要な時期で、「肥切れ」させないことが茎数確保に重要です。葉色がうすくなってきたほ場では、積極的につなぎ肥(窒素2kg/10a程度)を施用してください。

・6葉期を迎えたら、穂数確保のため、追肥(窒素2～3kg/10a)を行ってください。  
(穂肥)

6葉期を迎える時期は、

11月上旬の播種では1月上旬頃、

11月下旬以降の播種では2月中旬以降、と予想されます。

### ○ 麦踏み

麦踏みはほ場がよく乾いているときに、茎立ち期(2月中旬頃)までに実施してください。